

FALL FACTOR

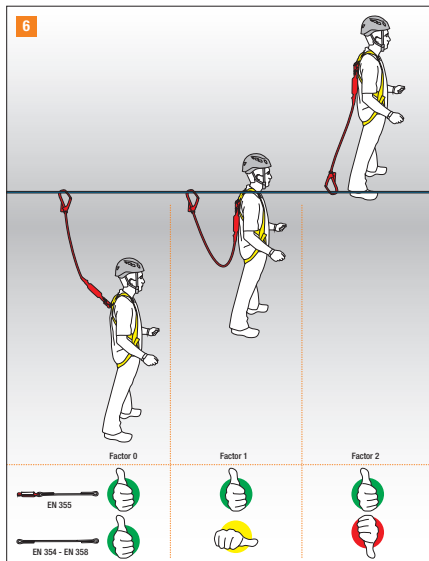
落下係数

落下係数は、高所で作業するとき特定のシナリオの危険性を評価するために使用される数値です。落下係数(図6)は、次の式を使用して計算されます。

落下係数=落下の高さ/ランヤードの長さ

落下係数が0になる状況(たとえば、作業者がテンションのかかったランヤードのアンカーポイントの下にいるような状況)または落下係数が1以下で、自由落下距離が0.6 m以下に制限される状況は適切といえます(すなわちEN 354-EN 358)。落下係数が1を超える、または移動の自由度が必要なその他の状況では、エネルギー吸収機能(つまり、EN 355)を含む落下防止装置を使用する必要があります。

※国内の使用においては、「墜落制止用器具」の法令に則った運用が必要になります。



FALL ARREST

フォールアレスト

フォールアレストシステムを使用するときは、次の注意事項に細心の注意を払ってください。

- 衝撃吸収ランヤードの長さは2メートルを超えてはなりません(コネクタを含む)。
- 落下の可能性のある距離は、適切なギアとリギングで常に最小化する必要があります。
- 落下中に労働者が何かにぶつかる可能性を排除する必要があります。
- フォールファクターが2を超える可能性のあるシステムを避けるべきです。
- アンカーポイントの下のクリアランス距離を計算して、作業者が地面にぶつからないようにします(図7)。クリアランス距離=A(ランヤードの長さ)+B(ショックアブソーバーの延長)+C(ハーネス取り付け部と作業者の足の間の距離、1.5 m)+D(地面からの安全な距離、1m)。以下の表を参照して、さまざまな状況で必要な最小クリアランス距離を計算してください。
- 墜落が発生した場合は、救助用具(つまり、CAMP安全救助キット)と訓練を受けた救助隊員が必要です。

国内の墜落制止用器具規格適合品につきましては、各製品の紹介欄に「墜落制止用器具適合品」と表示しています。

